

事務事業名 愛護動物対策事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1945

施 策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	01040106-16-318
基本事業：	02	ペットの適正飼育の推進	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	①狂犬病予防注射接種率 ②ペット、小動物に関する苦情・トラブル件数		担当課	環境課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和04年度 ～		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			■飼い主のいない猫の繁殖や糞尿による被害等を防止するため、地域住民のボランティア等を中心とした活動グループが行う不妊手術や餌の管理、排せつ物の処理等の活動を支援する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
飼い主のいない猫の過剰繁殖や糞尿による被害等を減らし、猫に関するする苦情・トラブルを減らす。 また、将来的には、地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
猫に関する苦情・トラブル件数		件	44	56	50	50			
5. コスト									
事業費	計	千円	332	522	1,800	1,866			
	国	千円	0		0	0			
	県	千円	166	252	315	315			
	地方債	千円	0		0	0			
	その他	千円	166	270	1,485	1,551			
	一般	千円	0		0	0			
正職員人工数		人工	0.5	0.5					
正職員人件費		千円	3,864	3,908					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,196	4,430	1,800	1,866			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
☐ あがっている ☐ どちらかといえばあがっている ☒ あがっていない（停滞・低下）		猫に関する苦情・トラブルに関する相談は、昨年度から12件増加し56件でした。動物基金の手術件、県の補助金を活用し、不妊去勢手術の支援など行っているが、猫の繁殖力が高いこともあって、野良猫の減少に至っていないことが原因と分析しています。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
福岡県地域猫活動支援事業補助金交付要綱が見直され、令和3年度から不妊手術費用の補助割合が全額から半額になった。また、数年後には補助金が廃止される予定のため、市の財政的負担が大きくなる。									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
平成26年度から福岡県による地域猫活動支援事業が開始。飼い主のいない猫の過剰繁殖や糞尿による被害、多頭飼育崩壊など市に寄せられる相談が増加傾向にある。									